# さをあなたに

実際に登録している皆さんの声を通して、その魅力を紹介します それは、「まさき農業サポ そんな悩みを一気に解決できる画期的な制度を知っていますか 「農業をやってみたいけど、何から始めればいいか分からない」 「農繁期は労働力が足りなくて困る。誰か手伝ってくれないかな」 人材バンク登録制度」





株式会社まさきばたけ 代表 小林 裕之 さん =中川原=

農業は気温や天候に左右され、予定し ていた作業ができなくなることも多いの で、常時雇用は大変です。また、繁忙期 はとにかく多くの人手が必要になります。 人材バンクを上手く活用できれば、1カ 所に留まらず、繁忙期の農家を次々サポー トしてもらうことが可能になるのではな いでしょうか。

るので主婦にはもってこいの仕事です。

「まさきばたけ」では、主婦や定 年退職をした人などが元気に働い てくれています。アプリを使った 勤務管理を行っており、皆さんは 金曜日に翌週の自分の勤務時間を 入れるだけ。空き時間の小遣い稼 ぎ感覚で、サポーターに登録して くれる人が増えるとうれしいです。

Supporter Inters. 自分で作物を作れる人間になりたいと 思ったことがきっかけで、サポーターに 登録しました。自然と触れ合いながら体 力づくりにもなるし、仲間と支え合うこ とで達成感が得られます。毎日が充実し てとても楽しいです。子どもを学校に送 り出した後、帰ってくるまでの間に働け

退職後、元気に働く人も。 2・3\_ 手早く枝豆を選別

あいと楽しく作業

│ 空き時間を上手に活用!/

▼門屋さんの週間スケジュール(例)	
月	別のパート
火	
水	サポーター (8 時 30 分~ 14 時)
木	
金	別のパート
±	サポーター (8 時 30 分~ 12 時)

休み

連絡・交渉・雇用契約 サポーター 農業者 登録・閲覧 登録・閲覧 情報提供 情報提供 人材バンク

▼イメージ図

ンクを活用し、5月からサポ

●登録簿

氏名、年齢、性別、連絡先、賃金な どの希望事項が閲覧できます。

> 農業者と農作業をやりたい 制度とは、労働力を必要とする

ター)が相互に登録し、

ク(以下「人材バンク」) 登録

ながら農業活性化の方策を考 きっかけは農業者の悩みから 農業者と町が意見を交わ

に掲載され、産業課の窓口で閲 バンクに登録した内容は登録簿 を提供し合う制度のこと。人材 契約締結に向け、 希望条件に合う相手との雇用 お互いの情報

### 話すのは、同会議メンバー 林裕之さん=中川原=。 せない。最初は友人や知り合い 登録制度はスター みを解決するため、人材バンク 確保したい」という農業者の悩 初に出た、「繁忙期に労働力を える、「若手農業者検討会議」。 つてで探す 「個人では、なかなか求人が 成28年の同会議立ち上げ当 しかなかった」と しました。 ・の小

門屋 沙和 さん =徳丸=

3 2020-8 ❖ 広報 まさき

効率的なマッチング制度



重川 鐵 さん = 昌農内=

- ●作業場所 昌農内、恵久美、西古泉
- ●人手が必要な期間通年

代表理事を務める「農業組合法人おかだファーム」では麦、個人では水稲、レタス、枝豆、スイートコーン、トマトやイチジクなどを育てている重川さん。その信条は、「食べる人の立場に立つ」ということ一。朝採れにこだわり、鮮度を下げずに1番美味しいタイミングで消費者に届くよう計算しています。そのかいあって、「重川さんの野菜は美味しい」とファンができるほどに一。喜んでもらえることに手応えを感じています。「人材バンクを活用して農業ファンを増やしたい」と話す重川さん。あなたもぜひ一度体験を。



「作付け面積が広くなり、人手が欲しくなった」と話す浮穴さん。日々改善を加えながら枝豆、オクラやレタスを育てており、「毎年同じことをしても成功するとは限らないのが農業の面白さ。難しいですが、狙い通りに上手く育ったときの喜びはひとしおです」とその魅力を話します。

人材バンクのことを、「農業に興味がある人の入り口に 最適。学生さんも大歓迎です」と話す浮穴さん。収穫や 袋詰めなど簡単な作業が主です。気軽に体験してみる と、あなたも農業の魅力に引き込まれるかもしれません。





**浮穴 佳温** さん = 東古泉=

- ●作業場所 東古泉
- 人手が必要な期間通年

### Introduction of Masaki farmers

# 俺たちと一緒に農業しよう

足立 恒夫 さん = 上高柳=

- **●作業場所** 上高柳
- ●人手が必要な期間 10~2月





「毎日新しく新鮮なものを食べられることが農業の喜び」と話す足立さん。水稲とレタスを中心に栽培しています。自身が所有している水田のほか、高齢化によって耕作できなくなった水田も預かっている足立さんは、「妻と2人で世話をしてきたが、昨年くらいから人を雇えないかと考えるようになった」と話します。

10月上旬からは、特に人力が必要なレタスの定植時期。同じ姿勢が続くためしんどいですが、初めての人でも十分できる作業です。今年の秋は、足立さんと一緒に「レタスの定植デビュー」してみませんか。

人材バンクに登録している農業者の皆さんを紹介します。 熱い思いで誠実に農業と向き合う人ばかり一。 きっとあなたも、その魅力に気付くはず。



「作物をゼロから育て、加工、販売、流通まで自分のオリジナルでできる一。こんなに夢のある職業は他にないと思った」と話す渡部さんは、3年前にキュウリ栽培を始めました。気候や天候に左右されず、年中作業ができるハウス栽培にこだわり、1日に約2,000~4,000本を全て手作業で収穫しています。「手軽に利用できる人材バンクは魅力的なシステム。お金を稼ぎたい人はもちろん、人生で何かに迷っている人や何かを得たいと思っている人にぜひ活用してもらいたい」と目を輝かせる渡部さん。農作業を通じた地域の活性化を目指しています。



株式会社ゆめゆめ農研 代表

渡部 貴信 さん =松山市=

- ●作業場所 大溝
- 人手が必要な期間通年



## さあ、あなたも登録しよう!

労働力不足で困っている農家の皆さんや、 農業をやってみたいと思ったサポーター予備軍の皆さん。 利用の流れを確認して、あなたも登録してみませんか。

### ■利用の流れ

# 登録申請をする

「農業サポーター人材バンク登録申請書」と「暴力団等でない旨の誓約書」に必要事項を記入し、本人確認書類(運転免許証など)と認め印(朱肉を使うもの)を持って産業課で申請する。

- ※ 申請書と誓約書の様式は町のホームページからダウンロード できるほか、産業課の窓口にあります。
- ※ 申請者本人が直接持参してください。

### ▼町HP

◉登録要件

【農業者】

【サポーター】

●産業課農業振興係 ☎ 985-4119

町内で農業を営む人

登録申請をする日が属する年度の

4月1日時点で満15歳以上の人





☆縁証を交付しまる

登録者の情報を閲覧する

人材バンクに登録した農業者かサポーターの情報を産業課の 窓口で閲覧する。

※ 個人情報を除いた登録者の希望事項(作業内容や勤務時間など) は町のホームページに匿名で掲載しますので、誰でも閲覧できます。



3

### 希望条件に合う相手と交渉する

希望条件に合う相手が見つかれば、直接連絡を取り合って雇用 に関する交渉や契約を行う。

※ いきなり電話をすることに抵抗がある場合は、産業課までご連絡ください。希望の相手に一報を入れることもできます。



あなたにも 終りと楽し

たが生きるために必要不可欠なもの。普段何気なく購入してなもの。普段何気なく購入してなる米や野菜も、農業者の皆さんが一つ一つ愛情を込めて育てんが一つ一つ愛情を込めて育てんが一つ一つ愛情を込めて育てんが一つ一つ愛情を込めてまさらの農業に関わることはもちん、日常を支えてくれる人への感謝の気持ちを持つことが、

|常を支える農業に感謝も

で、は、大り、一点にいんだり、一点にいろんな経験をしたいうちにいろんな経験をしたいきえたりしている学生の皆さん、何かを始めたいと思ってん、何かを始めればいいか分して何から始めればいいか分して何から始めればいいか分して何から始めればいいか分して何から始めればいいか分の事情に合った働き方を採用して、それぞの事情に合った働き方を採用して、それぞの事情に合った働き方をが、一つの事情に合った働き方をいというというというというにいいかがでしょうか。

実家が代々農家で、15歳から農業一筋だという岡井さん。水稲のほか、直売所に卸すカボチャ、玉ネギやトウモロコシなどの野菜を育てています。

「繁忙期の収穫など、作業を進めたくても人手がないとできない」と嘆く岡井さん。家族に手伝ってもらうにも限界があるため、「農業に関心があって、真剣に取り組んでくれる人が来てくれたら一」と期待しています。サポーターにお願いする作業は、田植えの補助、野菜の収穫や出荷のための袋詰めなど。初心者も大歓迎です。





でう た ろう **岡井 剛太郎 さん** = 南黒田=

- **●作業場所** 伊予市新川
- ●人手が必要な期間通年

### Introduction of Masaki farmers

# 俺たちと一緒に農業しよう

# 上田 英茂 さん =南黒田=

- ●作業場所 南黒田
- ●人手が必要な期間 10~7月





「自分の作った作物を食べて喜んでもらったときが 最高にうれしい」と話す上田さんは、枝豆、キャベツ、 レタスや白菜などを育てています。「天候に左右され るので、予定通りにいかない」とその苦労を話します が、昨年はキャベツ、今年は枝豆と新しい作物に挑 戦し、レベルアップを怠りません。

人材バンクのことを、「せっかくなら農業をやりたい人にサポーターをお願いしたいので、とてもいい制度」と話す上田さん。「老若男女問わず、やる気のある人と一緒に働けたらうれしい」と心待ちにしています。